

# 第37回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー

主催 化学工学会関西支部  
化学工学会 SIS 部会プラントオペレーション分科会

システム・情報・シミュレーション部会 (SIS 部会) のプラントオペレーション分科会では、現場第一線の監督者の方々を対象に、プラントオペレーションについての関心の高いテーマを取り上げ、学会・産業界の識者の講演を聞くとともに、参加者によるグループ討議を通して情報を交換し、共通する問題の解決を図るためのセミナーを、昭和58年から毎年継続的に開催してきました。

化学プラントの運転を支えてきたベテランオペレータの多くがすでに定年となり、技術伝承をスムーズに行い、安全・安定運転をいかに確保していくかが問題となってきています。また一方で、少人化と高度情報化に伴って化学産業の製造現場にも様々な情報システムが導入され、さらなる生産効率の向上が求められてきています。これらの動きに関連して、技術の標準化と伝承に関する問題の解決や、次世代のプラントオペレーションに向けての活動が求められており、現場監督者の方々には様々な課題を解決し、オペレータの能力を最大限引き出すことが要求されてきていると思われます。

本セミナーでは、このような課題についていろいろな切り口から議論を行い、これからのプラントオペレーションの方向付けを試みたいと考えています。本セミナーでの議論が製造現場のさらなる生産性の向上につながるるとともに、現場監督者や運転員の方々が新たな働き甲斐を見出す一助となれば幸いです。本テーマに関心を持たれる第一線の現場監督者の方々が多数ご参加されますことを心待ちにしております。

日時 2019年10月11日(金) 13:10 (12:30受付開始)  
～10月12日(土) 16:00 (1泊2日)

場所 (株)ダイセル 西播磨研修センター  
[兵庫県赤穂郡上郡町光都3-14-1, 電話 0791-58-1200]  
<交通> JR山陽線、山陽新幹線 相生駅からバスで30分、タクシーで20分

参加費 会員 41,000円, 会員外 51,000円 (宿泊費および食費を含む)

申込締切日 8月30日(金) 定員 50名 (予定、先着順)

申込方法 下記申込書の項目をご記入のうえ、メールまたは FAX にてお申込みください。参加費の送金は現金書留または銀行振込「りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No. 0405228 公益社団法人化学工学会関西支部」名義にご送金ください。参加者には、9月下旬頃、参加証・詳細スケジュール等の案内、テーマ内容に関する資料を送付します。(開催2週間前以降のキャンセルは50%、同3日前以降は100%のキャンセル料を申し受けます。)

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階  
公益社団法人 化学工学会関西支部  
TEL: (06) 6441-5531 FAX: (06) 6443-6685 E-mail: apply@kansai-scej.org

「第37回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー」参加申込書 (2019年度)

氏名		年令	
勤務先 所属部課名		会員資格	
所在地	〒		
	TEL	FAX	E-mail
送金内容	会員 41,000円 ( ) / 会員外 51,000円 ( ) 月 日 銀行振込にて送金 (予定)		
請求書	要 ( ) / 不要 ( )	連絡事項	

## ◇ プログラム

第1日 10月11日・金	12:30	受付開始
	13:10 } 13:30	開会あいさつ、オリエンテーション
		グループ討議 テーマ <b>「現場の第一線を支えるこれからの監督者のあり方」</b> ①現場力の維持向上、②現場の安全確保、③技術伝承/若年者教育の進め方、④未来工場でのオペレーション、⑤その他 (参加者希望テーマから) のサブテーマを設定し、参加者希望のグループに分かれて討議します。
	13:30 } 18:00	アドバイザー (予定) 柘植義文氏 (九州大学教授) 野田賢氏 (福岡大学教授) 川尻喜章氏 (名古屋大学教授) 黒岡武俊氏 (富山大学准教授) 濱口孝司氏 (名古屋工業大学准教授) 木村直樹氏 (九州大学助教) 伊藤利昭氏 (元名古屋工業大学教授)
	19:00 } 20:30	グループ討議の続き
第2日 10月12日・土	9:00 } 10:20	講演 日本の化学産業100年 事故から何を学んできたのか 半田化学プラント安全研究所 半田安先生
	10:30 } 12:00	グループ討議の続きとまとめ
	13:00 } 15:45	グループ討議結果の発表と質疑
	15:45 } 16:00	講評
	16:00	散会